

ご報告があります。

12月22日に以下の予算決定が出ました。

25日に農林水産省にうかがい予算の詳細を伺いました。

## 令和6年度農林水産予算概算決定の概要



<https://www.maff.go.jp/j/budget/r6kettei.html>

### 農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農泊推進型）

このなかの61-2をみると、地域の横の連携による農業農村観光が予算化されています。

多様なプレーヤーで構成される地域協議会に対して一体的に支援



[https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r6kettei\\_pr61.pdf](https://www.maff.go.jp/j/budget/pdf/r6kettei_pr61.pdf)

また環境に配慮した農業、女性活躍、新規就農支援、移住・定住も予算化されています。

6次産業が加工販売から広域連携のマネジメントになっていることがわかります。

お会いした農水省の村山直康室長は、私の連載「月刊NOSAI」（全国農業共済協会）

「農と食で高める地域の力」を「参考にしている」とのことでした。連載は現在30回。

農林水産省都市農村交流室長・村山さんは、以下の全自治体向けセミナーで講師をしていただきます。村山さんが国の方針と予算概要を、私が各地の事例を、イタリアの岡崎さんが、先進地で日本にも取りこめるアグリツーリズム（農村観光）の事例を紹介。

◎「新たな知と方法を生む地方創生セミナー2024/1/19(金)「新しい農泊のカタチ」」開催



[https://www.jcrd.jp/event//2023/0926\\_2847/index.html](https://www.jcrd.jp/event//2023/0926_2847/index.html)

全自治体向けに配信されます。主催：（一財）地域活性化センター

イタリア事例は「月刊NOSAI」（全国農業共済協会）2023年7月～11月で連続特集。

以下のセミナーでは、国が支援し自治体も力をいれている移住・定住を紹介。

◎ 『田舎』のスペシャリスト直伝！憧れの地方移住に一步近づく基礎知識

2024/1/23（火）20:00～ 2024/1/27（土）10:00～

<https://www.ssdmekuru.com/> (めくる塾) 主催：三省堂書店

今、関心の高い地方移住の取組を紹介。本と読者と結ぶ新たな試みとして生まれた企画です。

また連載中の住生活産業総合情報誌「ハウジングトリビューン」(創樹社)では、1月下旬、イタリアの岡崎啓子さんと私との対談でアグリツーリズム特集が組まれます。

同誌では「田舎再生の現場から」を隔週で連載しています。現在、54回目。

空き家活用・リノベーションの町づくりを主テーマに取組を紹介するものです。

これまでの掲載記事54本はWEB版で公開。全国から反響が来ています。



<https://htonline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/>

これまで取り上げた地域レポートが総務省の政策方針にも参考にされており、このなかのいくつかの活動のヒアリングが開始されます。

総務省地域力創造グループ地域自立応援課地域支援専門官から、次の依頼がありました。

●和歌山県田辺市「たなべ未来創造塾」について、人材育成の観点から、

取組みに至った経緯や事業実施の工夫、今後の展望などお聞かせいただけると幸いです。

1～6期の実行率…71.4% (50/70)。うち移住者が新たに起業した新規創業と地域事業者が別会社を立ち上げるなど第二創業を合わせた割合は25.7% (18/70)。移住者数については、2020年度…40世帯、74人、2021年度…52世帯、89人 2022年度…39世帯、66人



<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n33535.html>

●栃木県益子町「道の駅ましこ」については、地域資源活用あるいは地域住民のまちづくり意識の醸成といった観点から、同施設の果たす役割であったり、今後の展望などお聞かせいただくと幸いです。人口2万人に76万人が訪れる。新規就農支援も実施。



<https://honline.sohjusha.co.jp/658-032/> 道の駅ましこ その1

<https://honline.sohjusha.co.jp/660-054/> 道の駅ましこ その2

住生活産業総合情報誌「ハウジングトリビューン」(創樹社)より

●埼玉県三芳町「石坂産業」ですが、公民連携のまちづくり、持続可能な地域経営といった観点から関心がございます。取組みに至った経緯や行政との関わり、さらには今後の展望など伺えればと思います。



『環境と旬と循環を食から学ぶ埼玉県「三富今昔村」』「味の味」2023年6月号記事より

<https://www.kanamaru-jp.com/data/remsai/pdf/remsai11071.pdf>

趣旨は以下のとおり

「地域づくり人材育成の取組み、あるいは地域資源を活用した地域経済振興、さらには環境に配慮したまちづくりなど広く事例収集することで、当方の施策立案の参考にさせていただきたい」

**経緯:**12月19日に、総務省地域力創造アドバイザー・内閣官房地域活性化伝道師の交流事業が行われ、挨拶に見えた総務省・地域力創造審議官・山越伸子さんに挨拶をしたところ「注目の地域はありますか」と問われ、「たなべ未来創造塾」「道の駅ましこ」「石坂産業」を挙げ、その内容資料をお送りしたことがきっかけです。

追記：

総務省地域力創造グループに注目となった「石坂産業」「たなべ未来創造塾」「道の駅ましこ」は、  
連載中の雑誌「月刊 NOSAI」(全国農業共済協会)「農と食とで高める地域の力」で特集。

●「たなべ未来創造塾」2023年3月号

「果樹栽培とジビエ加工販売を連携和歌山県田辺市・日向屋の経営戦略」

●「道の駅ましこ」2023年5月号

「暮らしから観光まで経済に繋ぐ地域全体の窓口「道の駅ましこ」」

●「石坂産業」2023年12月号、2024年1月号 2か月連続特集

「有機農業と生物多様性の里山再生に取り組む石坂産業」

「有機農業と生物多様性の里山再生に取り組む石坂産業その2脱炭素への取り組み」

[http://www.nosai.or.jp/nosai\\_kasou/syuppan.html](http://www.nosai.or.jp/nosai_kasou/syuppan.html)



👉「月刊 NOSAI」ホームページ

## 金丸弘美

内閣官房地域活性化伝道師・総務省地域力創造アドバイザー

地産地消コーディネーター（農林水産省）

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

高知県観光特使

（食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー）



<https://www.kanamaru-jp.com/home/index.php>

👉金丸弘美ホームページ

金丸弘美は、総務省、内閣官房の人材派遣事業に登録されています。

直接、現地に行ってアドバイスをすることができます。

●内閣府派遣事業 金丸弘美は内閣府の「地域活性化伝道師」に登録されています。

地方自治体が金丸を指名すれば「外部専門家」として現地に赴きアドバイスを行うという制度です。



<https://www.chisou.go.jp/tiiki/dendoushi/index.html>

👉地域活性化伝道師

●総務省派遣事業 金丸弘美は総務省の「地域人材ネット」に登録されています。

地方自治体が金丸を指名すれば「外部専門家」として年間5回以上のアドバイスに伺うという制度。



<http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>

👉総務省地域力創造アドバイザー